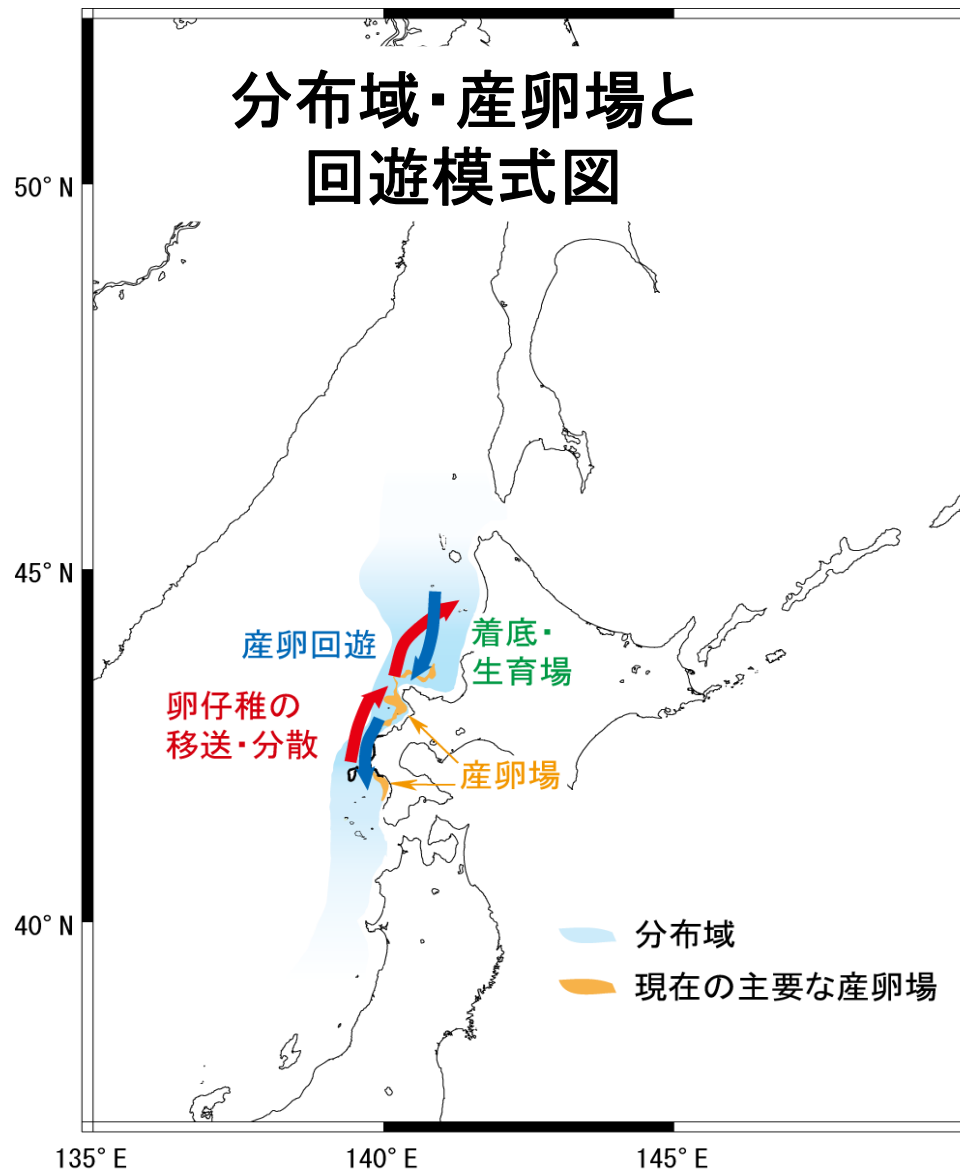




スケトウダラ日本海北部系群 令和2年度資源評価結果

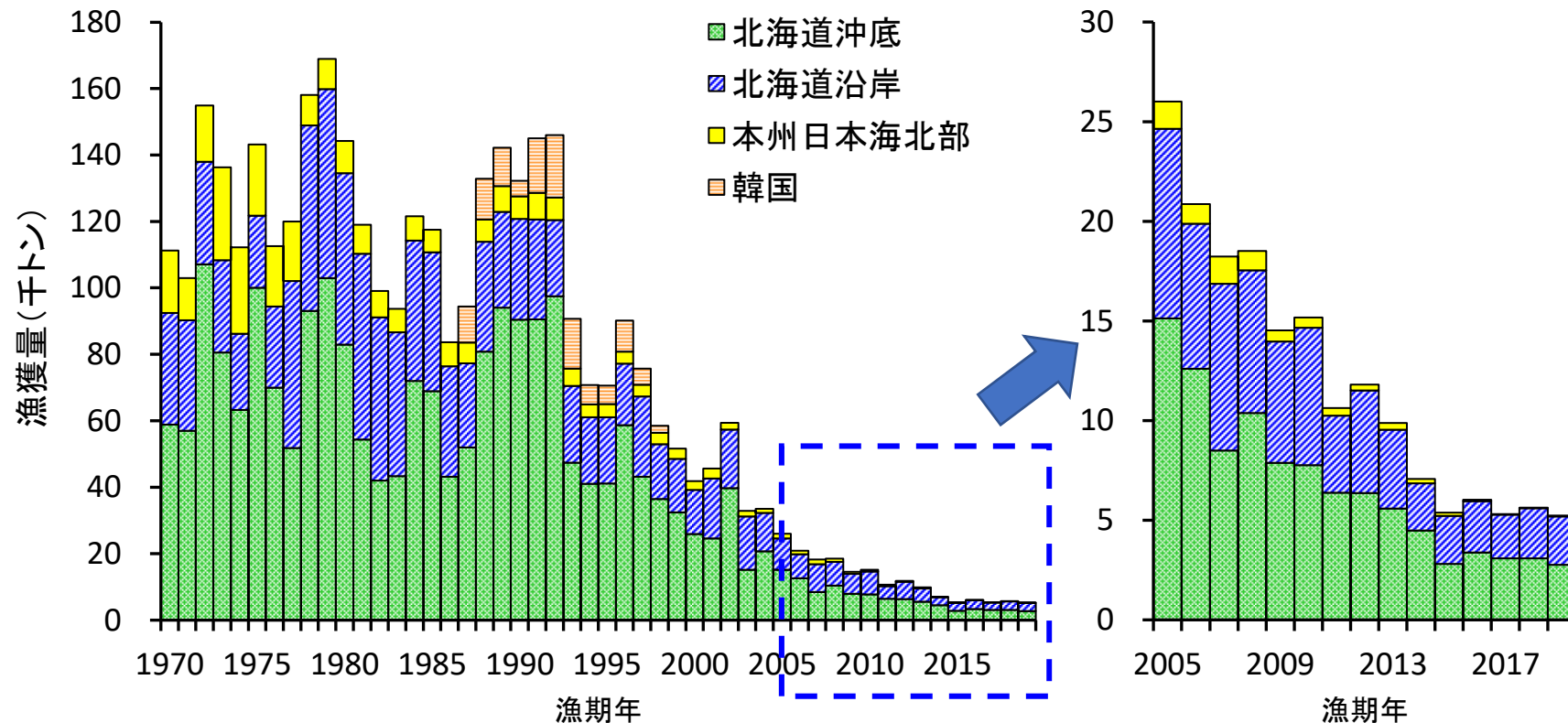
スケトウダラ日本海北部系群 生物学的特性



生物学的特性

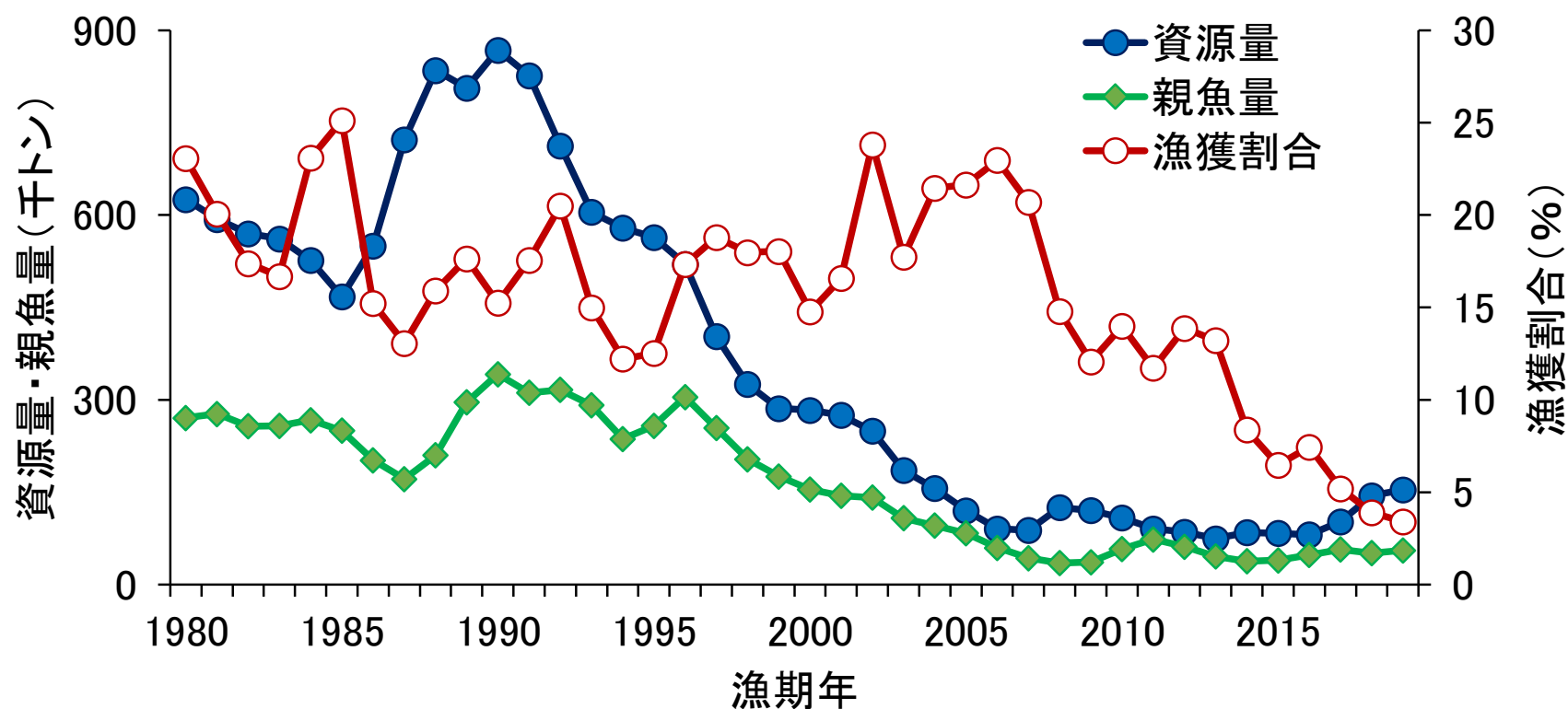
- 寿命： 10歳以上
- 成熟開始年齢：
3歳から成熟開始、5歳で大部分が成熟
- 産卵期・産卵場：
産卵期は12～3月、近年の産卵場は岩内湾および乙部沖(檜山)海域
- 食性：
浮遊性小型甲殻類、魚類、イカ類等
- 捕食者：
海獣類、マダラなど魚類、共食い

漁獲の動向



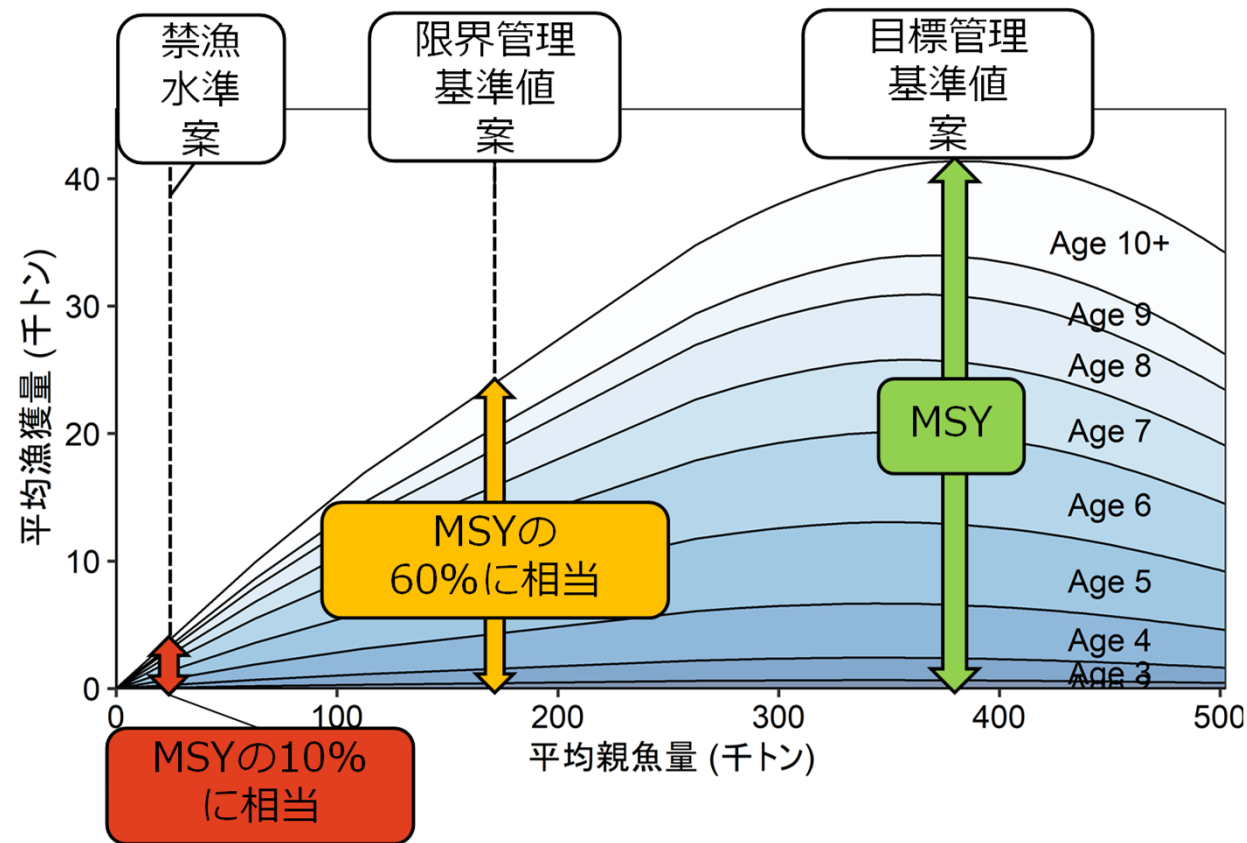
- 2019年漁期の漁獲量: 5.2千トン(前年: 5.6千トン)
北海道沖底: 2.8千トン(前年: 3.1千トン)
北海道沿岸: 2.4千トン(前年: 2.5千トン)

資源の動向



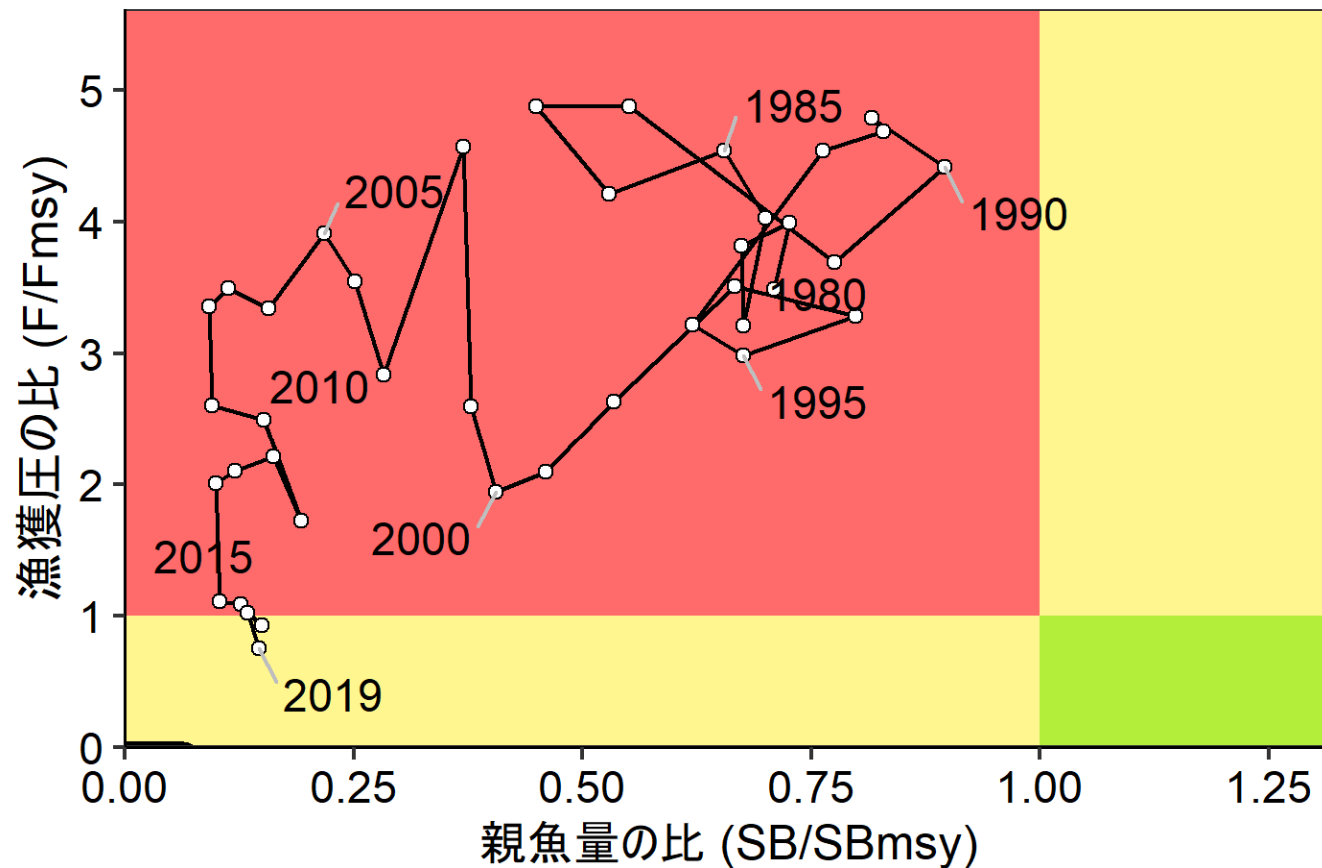
- 資源量は近年増加傾向で、2017年漁期に100千トンを上回り、2019年漁期は154千トンまで増加
- 親魚量の動向は「増加」

スケトウダラ日本海北部系群のMSY



- 最大持続生産量(MSY): 4.4万トン
- MSYを実現する親魚量(SBmsy、目標管理基準値案): 38.0万トン

スケトウダラ日本海北部系群の神戸プロット(チャート)



神戸プロット:
資源水準と漁獲圧について、
最大持続生産量を達成する水準
と比較した形で
過去から現在までの推移を表示
したもの

- 現状の親魚量: MSYを実現する親魚量を下回っている
- 現状の漁獲圧: MSYを実現する漁獲圧を下回っている

将来の親魚量及び漁獲量の推移

将来の平均親魚量（千トン）

2031年漁期に親魚量が目標管理基準値案（38.0万トン）を上回る確率

2031年漁期に親魚量が限界管理基準値案（17.1万トン）を上回る確率

β	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
1.0	56	92	121	119	131	144	146	152	154	160	168	175	182	46%	2%
0.9	56	92	121	120	132	146	149	156	158	165	174	182	190	51%	2%
0.8	56	92	121	120	134	149	152	159	163	170	181	190	199	57%	3%
0.7	56	92	121	121	135	151	155	163	168	176	188	198	209	63%	3%

将来の平均漁獲量（千トン）

β	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1.0	5.2	6.7	8.8	9.3	11.5	14.1	14.1	15.0	15.6	16.4	17.7	18.6	19.5
0.9	5.2	6.7	7.9	8.5	10.7	13.2	13.2	14.2	14.8	15.6	16.9	17.8	18.7
0.8	5.2	6.7	7.1	7.7	9.8	12.0	12.2	13.2	13.8	14.6	15.9	16.8	17.8
0.7	5.2	6.7	6.2	6.9	8.8	10.9	11.2	12.1	12.7	13.5	14.7	15.7	16.6

漁獲管理規則案に基づく将来予測において、 β を0.7～1.0の範囲で変更した場合の平均親魚量と平均漁獲量の推移

2020年漁期の漁獲量はTAC数量である6.7千トンと仮定し、2021年漁期から漁獲管理規則案に基づく漁獲を開始